もに十数㍍ほどの赤い霧ケ な景観をなす。長さ、高さと 象と相まって、明るく爽快 れ込む。出合滝の清涼な印

影者は八幡村の野田富示仁

しい木橋の写真がある。撮

前の風景と調和した美

瀬橋が架かる。欄干と桁(け

五年頃と推定される。

(本名=不二仁)氏、

挟まれた淵へ、水流が長い 瀬である。直立した岸壁に

「合滝の上流一帯が霧ケ

耐えている。

■写真家二人出会う

た) は鉄製で、

毎年の豪雪に

写真集「芸北、

南 峰

と歩

<

(11)

霧ケ瀬

(きりがせ

ガラス乾板

で蘇

る美

木

瀬となり、

岩間を縫って流

段峡卓上カレンダー

発 行

NPO法人

三段峡-太田川

流域研究会

(代表•本宫炎)

〒731-3813

広島県山県郡

安芸太田町

柴木1734

090 342 1 3046

## 広 瀬印 刷 地 域 発信事 掲載写真は四月の雪解け 業で制

三段峡の四季を紹介する卓上カレンダーが 12月 29日、ネット ピングサイトで発売された。瀬尾淳副理事長が経営する広瀬 環。売り上げの--部がさんけんへ寄付され 販売ページは https:/www.amazon.co.jp/dp/BO8RDNRDPJ 田川の環境保全に取り組 ど、三段峡の代表的な景観 込み千六百五十二円。 の視点で選ばれている。撮 ではなく、新たな魅力発見 水や六月のケヤキの大木な 影は尾崎秀司理事。 十三ジー、 連携して三段峡のPRと太 縦十五ぢ×横十八ぢ、 同社は今後、さんけんと 年間一万部以上の贈答

新たな視点で魅力紹介

発売された卓上カレンダー

2021年の主な事業計画

動植物の調査・保全に注力 昨年進んだオオサンショウウオを 中心にした河川の生態系調査、深入

山のゴマシジミ保全活動に加え、

内の希少植物の保全に取り組む。

力発電施設建設予定地の自然環境調

査などを実施。盗掘が確認された峡

「自然塾」開始 リーダー育成

然塾」を開始する。定期的な講座で自

然を守る次世代のリーダー育成に取

-の販売を予定。風力発電では引き

地域観光、風力発電で連携

トを推進。三段峡の売店改修、観光客

「あきおおたの楽しい 100 を継続する。風力発電では町内外の

広島ホームテレビの地球

滝壺が収録された。リポータ

ーは北広島町在住の宇宙博

ホームTV

「地球

派宣

言」特番で収

の町内回遊の促進に取り組む。

関係者や全国の団体と連携する。

あった。特番のテーマは太田 が十二月二十四日、二段滝で 派宣言キャンペーンの撮影

では、オオサンショウウオや 川や瀬戸内海の水中。三段峡

た。放送予定は二月二十日。 興味深そうに峡内を探索し 森は知らないことが多い」と 士こと井筒智彦さん。「川や

昨年実施した地域観光プロジェク

り組む。姉妹滝アドベンチャ

続き住民に考える場を提供する。

中学生が先生になる「さんけん自

サポートするのが狙い。 案し、企業の地域貢献活動を 用カレンダーの受注実績が ーによって魅力が伝われば、 あり、三段峡カレンダーを提 瀬尾副理事長は「カレンダ

本宮理事長

「深く根を張る」をキーワ

設に対する取り組みでは、単

したい。

三段峡憲章は人と自然の

割

の種になるとすれば、今年の

り組みが新しい社会様式へ 影響が予想される。昨年の取

キーワードは「根を出す」に

に反対運動ではなく、住民自

り鶴を有効活用する平和発 信事業にも取り組んでいる。 を増やしたい」と話してい 果が期待できる。コラボ商品 さんけんの活動にプラス効 る。同社は平和記念公園の折

染拡大の中、地域の事業者 らが町の未来を決められる イベントや動画作成も展開 回以上の協議や講座を実施 などと地域観光について十 できた。風力発電施設の建

た。新型コロナウイルス感

げる」さんけんの行動指針に ために、「調べる、伝える、繋

沿って活動し、重要な役割を

の役割は一層大きくなった

と考える。都市との新たな関

染症とともに生きざるを得 これからの関係を問うた。感

ない社会になった今、私たち

果たした。

今年の干支「丑」には、種

係や持続可能な社会の構築

る。今年もコロナウイルスの が根を出すという意味があ

芽を吹かせたい。

のために、根を出し、

本宮炎理事長

ードにした昨年は、事業の定

コロナ後 着と成果の向上を目指し 層大きくなる役

https://sankenhroshmaorg/

雪景色

染拡大第三波のただ中、 せられる。新型コロナ感 景色を見ると、ホッとさ の三段峡では当たり前の

不安な心に刺さったトゲ

る役割を認識する。 り、改めて果たしていんな場所のひとつであ てくれる。三段峡がそ 痛みを自然が和らげ

にホッ

降らなかったため、冬けた。昨年はほとんど雪に覆われて年が明

・ロメモ

2021年のキ

ーワード

根を出す

## データの中に霧ケ瀬橋の写 真が数点あったのである。 姿も三点あり、 常に撮る側だった南峰の (松尾 対面し胸を

胸熱く

南峰に対面

出版された。野田家の倉に眠 っていた約二千点のガラス る昭和初期」が二〇〇三年に カメラが語 県郡の展望」を私費出版した 写真帳」の後を継ぐべく、「山 南峰が二回発行した「山県郡 南峰氏との出会い」と記し、 たのは、三段峡開発に伴う熊 経緯を紹介している。 昇氏を訪ね、 掲載外や新発見のデジタル た。そのとき譲り受けた 写真の復元に携わった紺野 苦労話を聞い

九年七月、

して振舞い、

盛り上がった。

キャンペーンを提案した。 医学的調査の実施」を求める

んがビーフシチューなどに

挨拶文の中で一父がこのよう 載している。息子の耕作氏は 復元し、うち百八十三点を掲 乾板を数年がかりで写真に な写真とのかかわりを持っ

ガラス乾板

催 発風 電力 全国連絡会発足

さんけん祭開

を体験した子供たちを含め 差し入れた猪肉を細川浩さ 三十五人が参加した。会員が に限定。夏にさんけん自然勢 さんけん会員とその紹介者 十二月六日、三段峡正面口で 画した第二回さんけん祭を そば打ちや橡餅つきを企 日の会合で、「低周波被害の 会(仮称)が発足した。フェ 木邦夫理事の呼びかけで十 力発電問題に取り組む佐々 アームを考える会は二十七 イスブックを活用し、三十二 人が参加。広島西ウインドフ 一月五日、風力発電全国連絡 北海道自然保護協会で風

開いた。感染症対策もあり、